

私立の受験が始まりました

3学期がスタートしましたね。3年生のみなさんは冬休みに受験勉強を頑張ったことと思います。また、冬休み中には県外の私立受験を経験した人もいます。すでに受験を経験した生徒に話を聞くと、みんな口を揃えて「緊張しました～！」と言っていました。自分の実力を最大限に発揮するためにも、しっかりと準備をして臨みましょうね！私立高校受験者を対象に配布した資料の内容を掲載します。力を発揮してきてくださいね！

1 前日までの準備

○試験の準備

下記はあくまで試験に必要な一般的なものです。高校ごとに持ち物や決まりが異なりますので、各高校の入試要項等を確認してください。

持ち物	☐ 受験票 ☐ 筆記用具 ☐ 昼食（水筒） ☐ 時計（計時機能のみの時計） ☐ 上履き ☐ 身分証明書 ☐ マスク ☐ ハンカチ・ティッシュ ☐ 必要な学習道具
防寒着について	・基本的に試験中は防寒着を着ません（マナーとして）。会場で「着てもいいです」と指示があった場合は着ましょう。ただし、漢字、アルファベット等のプリントがある防寒着（ウィンドブレイカーを含む）は試験に影響するため着用不可としている学校もあります。

2 試験当日

- （1）各自で体調確認を行う。
- （2）持ち物、身だしなみの再確認。※ボタン、頭髮等よく確認すること。
- （3）自宅から直接試験会場に行く。
 - ①余裕をもって試験会場に到着する。
 - ②できるだけ公共の交通機関を利用する。

※高校によっては自動車の送迎を禁止している場合があります。

雪や事故などで公共の交通機関が止まったり、大きく遅れたりした場合は、通常、高校側も配慮してくれます。ただし、自動車の渋滞や事故は、一般的には考慮されないので注意！特に試験会場付近は受験生の送り迎えで混み合うので注意！

- （4）高校に到着したら、掲示されている案内図や諸注意をよく読み、係の先生の指示に従うこと。
- （5）試験中は採点不能にならないように、丁寧にわかりやすく記入すること。終了まで全力を尽くす。不正行為と疑われるような行為はしない。終わっても分からなくても寝ない。
- （6）試験が終了したら、直接帰宅する。終わったからといって油断しない。試験会場を出ても、高校の先生や受験生の保護者、地域の方などが受験生のことをよく見ていることをお忘れなく。

3 トラブルシューティング 「こんな時どうする？」

(1) 入試当日、朝の段階で発熱や体調不良がある。

→ 入試当日の欠席の連絡は午前7：00以降に中学校に電話連絡をする。原則、中学校から志願先高校へ連絡を入れるが、高校から保護者が高校に連絡するよう指示がある場合はその限りではない。追検査の実施の有無や追検査を受けられる条件などについては、高校ごとに異なるので、入試要項をよく確認する。

(2) 大雪、災害等により公共交通機関が動いていない。

→ 日程や時間の変更等がある場合は、午前7：00以降に中学校に電話連絡をする。

(3) 試験中に震災等の非常事態が発生した。

→ 一般的には高校で受験生を保護者へ引き渡す。様々なケースが考えられるので、高校の先生の指示に従う。

(4) 試験会場に着くまでにトラブルが発生した。

→ 必ず中学校に連絡をする。中学校から志願先高校へ連絡を入れる。